

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 2月 16日

事業所名 ハッピーテラス下関一の宮教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>		ADHDの児童のために刺激となるものは眼につかないように工夫している	必要に応じて構造化を行っている
	2	職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>		トレーニング内容に適切な指導員を配置している	シフト管理を徹底し適切な人員配置を行う
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		<input type="radio"/>		手すり等は必要に応じて設置していく予定
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>		毎日支援について話し合う時間を持っている	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>		保護者面談にて個別に説明している	3カ月に1回もしくは6か月に1回は行う
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>		本部HPにて公開予定	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		<input type="radio"/>		医療ケア必要児の受け入れなし
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		本部からの指導研修有	社内勉強会を定期的に開く
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>		契約時のアンケートによる聞き取り・ソーシャルスキル・知能のアセスメントツールを使用し計画を作成している	職員全員が計画を立てができるようスキルアップする
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている		<input type="radio"/>		次年度の年間計画は3月に作成する
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>		月毎の行事を盛り込む等	本部の教材に加えて来所児童の発達状況に合わせたトレーニングを行う
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	<input type="radio"/>		毎週異なるテーマでトレーニングを行っている	長期休暇はこども会議で催しを計画している
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>			利用者数が増えても現状の支援を維持する
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>		トレーニング会議を毎日行っている	利用者数が増えても現状の支援を維持する
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>		終礼にて行っている	利用者数が増えても現状の支援を維持する
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>		全員分毎日記録している	利用者数が増えても現状の支援を維持する
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>		相談支援員と連携を取り行っている	利用児・保護者面談にてアセスメントツールを利用している。結果を相談支援員と共有する。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	<input type="radio"/>		ガイドラインの周知	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	<input type="radio"/>		資料等持参し積極的に参加している	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	<input type="radio"/>		利用前に顔合わせし、連携をとっている	毎月トレーニング内容等盛り込んだ通信を発行して渡している

関係機関や保護者との連携	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	<input type="radio"/>		医療ケアが必要な利用者さんが来られた際には可能な限り対応していきます
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	<input type="radio"/>	保護者の意向により	
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	<input type="radio"/>		現在はおられませんが必要な利用者さんには可能な限り対応していきます
	25 児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	<input type="radio"/>		本部のリモート研修に出来るだけ参加する
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	<input type="radio"/>	地域のイベント・ワークショップへの参加予定	公園や外出トレーニングの際の係わりを増やしていく。他放デイとの合同行事を企画予定
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	<input type="radio"/>	通所分科会に参加	通所分科会に参加・事業所内で共有
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	<input type="radio"/>	日々のフィードバック・面談にて行っている	
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	<input type="radio"/>		保護者サロン開催予定・準備中
	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	<input type="radio"/>	契約時に行っている	
保護者への説明責任等	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	<input type="radio"/>	保護者からの希望により各協力機関と連携を取っている	
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	<input type="radio"/>		今後保護者の茶話会計画中
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	<input type="radio"/>	面談にて行う。他窓口の案内も行っている。	
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	<input type="radio"/>	月に1回通信の発行	
	35 個人情報に十分注意している	<input type="radio"/>	厳守している	情報管理マニュアルの定期的な読み合わせを行う
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	<input type="radio"/>	保護者向け資料の作成をしている	より分かりやすい資料作りを心がける
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	<input type="radio"/>		今後隣接するカフェにて計画する
	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	<input type="radio"/>	マニュアルを作成している	年2回の防災訓練時にマニュアルの見直しを行う
非常時等の対応	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	<input type="radio"/>	行っている	火災・地震・不審者対応訓練を年間計画に取り入れている
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	<input type="radio"/>	記録	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	<input type="radio"/>	虐待委員会の設置・研修	法人全体研修を行っていく
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	<input type="radio"/>		保護者からの聞き取り
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	<input type="radio"/>	研修にて行っている	テンプレートを準備、細かなことでも記入していく